

決算レポート

2026年6月期 第2四半期

オルバヘルスケアホールディングス株式会社
(旧 株式会社カワニシホールディングス)

(証券コード：2689)



つなぐ、人と未来。

OLBA
HEALTHCARE

Contents

- ◆ 企業理念
- ◆ 2026年6月期 第2四半期業績概要
- ◆ 2026年6月期 業績予想及び配当の基本方針
- ◆ 中期経営計画 概要
- ◆ 参考資料

企業理念



OLBA
HEALTHCARE

企業理念・「オルバヘルスケア」の由来

【企業理念（パーパス）】
ビジネスを通じて、
医学・医療・介護の発展に貢献し、
国民の健康長寿に寄与する



OLBA
HEALTHCARE
つなぐ、人と未来。

オーバル（OVAL）

ひとつにつながった楕円形



オービット（ORBIT）

軌道

地域のヘルスケアにおいて、人と技術がつながり、
ひとつの円になる未来を目指し、グループの軌道を示す

2026年6月期 第2 四半期業績概要



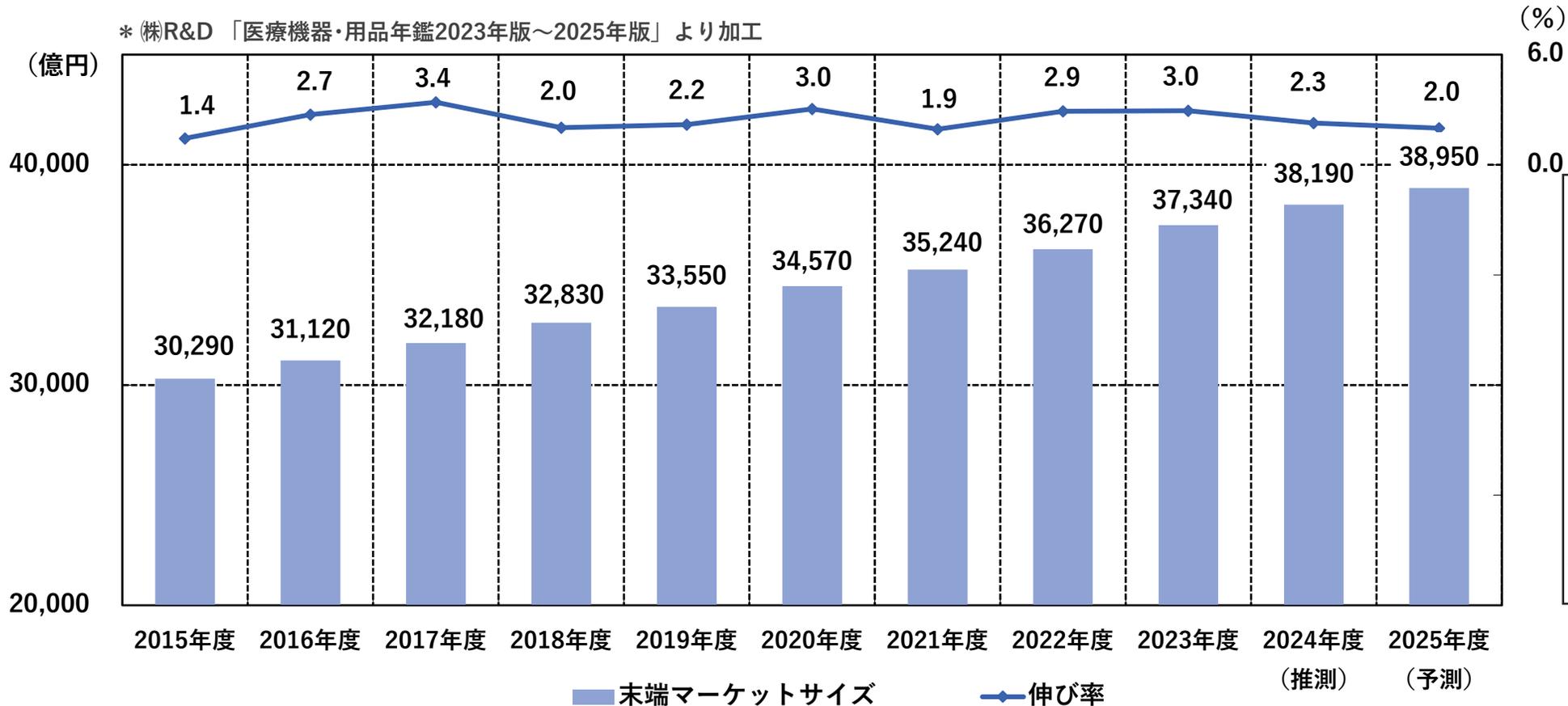
OLBA
HEALTHCARE

医療機器の国内市場規模

医療費抑制政策あるも安定的に市場成長

2025年度は3兆8,950億円の予測

- ・ 新型コロナの影響から回復し、市場は安定的に拡大
- ・ 手術数増加や新規製品導入（手術支援ロボット、循環器領域）により市場規模拡大



**【輸入超過額】
約2兆円**

【輸入割合事例】

- ・ 心臓ペースメーカ：100%
- ・ 人工膝関節：96%
- ・ 全身用X線CT装置：12%

*厚生労働省 薬事工業生産動態統計年報
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/105-1c.html>

■世界的なインフレ・円安

- ・海外製品が多い医療機器の**価格は上昇傾向継続**
⇒営業活動拡大や仕入改善等の対策を実施
⇒代替品提案織り交ぜながら、販売価格への転嫁交渉を実施

■医療機関での人員不足・デジタル化の遅れ・設備投資控え

- ・新型コロナウイルス関連補正予算等の補助金の減少
- ・人件費や資源価格の上昇等を受け、**一部医療機関で経営環境が悪化**
⇒新規ビジネスによる医療業務の効率化、医療機関以外への販売も展開
⇒補正予算（約1兆4,000億円）、診療報酬プラス改定（全体で+2.22%）

■高度医療機能の集約化

- ・特定の大規模病院に高度で専門的な医療を集約
- ・医師・看護師・医療設備を集約し、質の高い医療提供体制を維持する。
⇒当社主要顧客は地域の基幹病院。医療機器メーカーとの協力体制を強化し医療機関をサポート



■主力医療器材事業での営業利益伸び悩み

- ・売上高は順調に伸びるも、価格交渉厳しく利益率低下
⇒ 関西エリアでの顧客獲得により、整形外科領域好調
⇒ 医療機関の経営悪化により、設備備品更新の先延ばし等が発生
- ・システム・セキュリティ関連費用等の販管費増加



インテュイティブサージカル ホームページ
(<https://www.intuitivesurgical.com/jp/>) より

■SPD事業・介護用品事業での堅調な成長

- ・SPD事業：SPD契約件数増加
⇒ 中小医療機関向け 在庫管理システムの販売好調
- ・介護用品事業：主力レンタル事業は前期比6.7%の増加
⇒ 前期開拓した四国エリアが寄与し、順調に伸長



売上高・売上総利益は過去最高になるも、利益は減少

	百万円	予算比	前期比
売上高	62,444	△1.4%	+3.0%
売上総利益	6,940	△4.1%	+1.8%
売上総利益率	11.11%	△0.32	△0.13
販売管理費	6,267	△2.7%	+4.3%
営業利益	673	△15.1%	△16.6%
経常利益	675	△10.9%	△18.0%
親会社株主に帰属する中間純利益	450	△5.2%	△30.5%

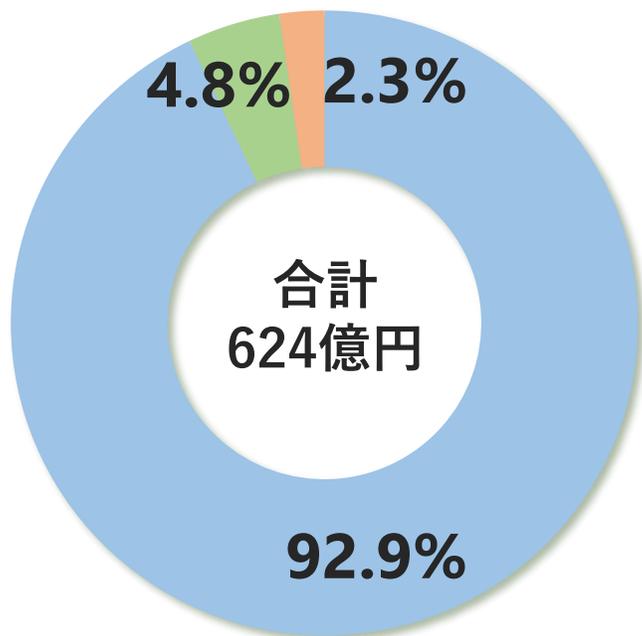
【親会社株主に帰属する中間純利益の前期比大幅減について】
子会社の本社移転統合計画に伴い、前期の中間純利益の水準が一時的に例年を大きく上回っていたため。

1株当たり中間純利益 76.02円

医療・介護機器販売業 事業内容②

売上高構成比

■ 医療器材 ■ SPD ■ 介護用品



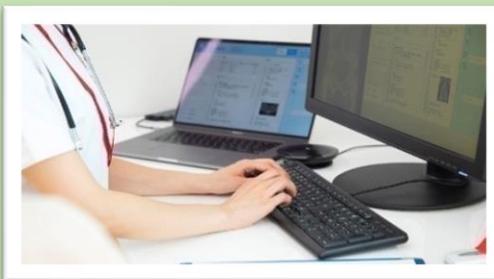
[2026年6月期2Q] 売上高 (営業利益) ※売上高はセグメント間内部売上高含む

589億円
(5.5億円)



医療器材事業
医療現場のトータルパートナー

30億円
(0.6億円)



SPD事業
院内の医療器材管理サービス

14億円
(1.2億円)

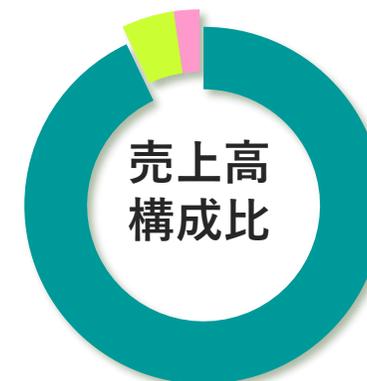


介護用品事業
在宅介護用品のレンタル・販売

医療現場のトータルパートナー

百万円	実績	予算比	前期比
売上高 ※1	58,922	△1.4%	+2.8%
営業利益	555	△21.1%	△22.4%

医療器材〔92.9%〕



百万円	売上高実績 ※2	前期比
カワニシ	39,509	+2.3%
サンセイ医機	13,266	△0.2%
日光医科器械	6,427	+7.7%

※1 売上高(予算比・前期比含む)はセグメント間内部売上高含む

※2 個別会社の売上高実績は、グループ会社間の取引金額を含む

医療器材事業 消耗品

売上高 534億円 前期比 2.7%増

単位：百万円

商品分類	売上高	前期比	サブセグメントのポイント
手術関連消耗品	26,142	+0.7%	手術件数増加、重点施策の糖尿病関連製品が販売順調 内科(糖尿病含む)+4.8%、消化器内視鏡+4.7% 外科+1.9%
整形外科消耗品	14,946	+5.8%	ロボット・ナビゲーション販売に絡む消耗品販売好調 脊椎+10.1%、人工関節+5.1%
循環器消耗品	12,340	+3.4%	不整脈治療に係る新製品販売好調 カテーテルABL*+5.5%、不整脈関連インプラント+12.0% 心臓血管外科領域+2.4%

* ABL：心房細動などの頻脈に対して心臓の一部をカテーテルを用いて焼灼または冷凍処置する治療
※売上高(前期比含む)は新収益認識基準適用前の管理会計に基づく集計値



超音波メス

ジョンソン・エンド・ジョンソン
ホームページ (<https://www.jnj.co.jp/>) より



人工膝関節

ジンマーバイオメット ホームページ
(<https://www.zimmerbiomet.com/ja>) より



ペースメーカー

メドトロニック ホームページ
(<http://www.medtronic.com/>) より

医療器材事業 設備備品

売上高 64億円 前期比 1.6%減

設備備品売上のポイント

- ◆新型コロナ等補助金による需要増加が一服
- ◆病院の経営環境悪化に伴い、設備投資意欲が減退
- ◆クリニック向け自動精算機販売は順調



自動精算機

カワシバークレド HP
(<https://kawanishi-bm.co.jp/>) より



人工呼吸器

Philips ホームページ
(<https://www.philips.co.jp/healthcare>) より



解析機能付き 生体情報モニタ

フクダ電子 ホームページ
(<https://www.fukuda.co.jp/>) より

医材流通のスペシャリスト

百万円	実績	予算比	前期比
売上高 ※	3,027	+1.6%	+6.5%
営業利益	64	+21.2%	+16.9%

※売上高(予算比・前期比含む)はセグメント間内部売上高含む

契約総数

直接 78件

FC 2件

- ◆ 物品管理サービス料金の見直し
- ◆ 在庫管理システム「Medilia®」の販売順調
- ◆ 仕入価格上昇分の価格転嫁や仕入改善実施



物品管理



情報管理



購買管理



介護用品のトータルサポート

百万円	実績	予算比	前期比
売上高 ※	1,460	+0.4%	+6.6%
営業利益	122	+8.4%	+16.2%

※売上高(予算比・前期比含む)はセグメント間内部売上高含む

- ◆ 在宅医療・居宅介護需要の継続
- ◆ 前期開拓した四国エリアの販売が寄与
- ◆ 主力の介護用品レンタルは前期比6.7%増
- ◆ レンタルに付随する物品販売は前期比11.5%増



レンタル



販売



リフォーム



2026年6月期業績予想 及び 配当の基本方針



OLBA
HEALTHCARE

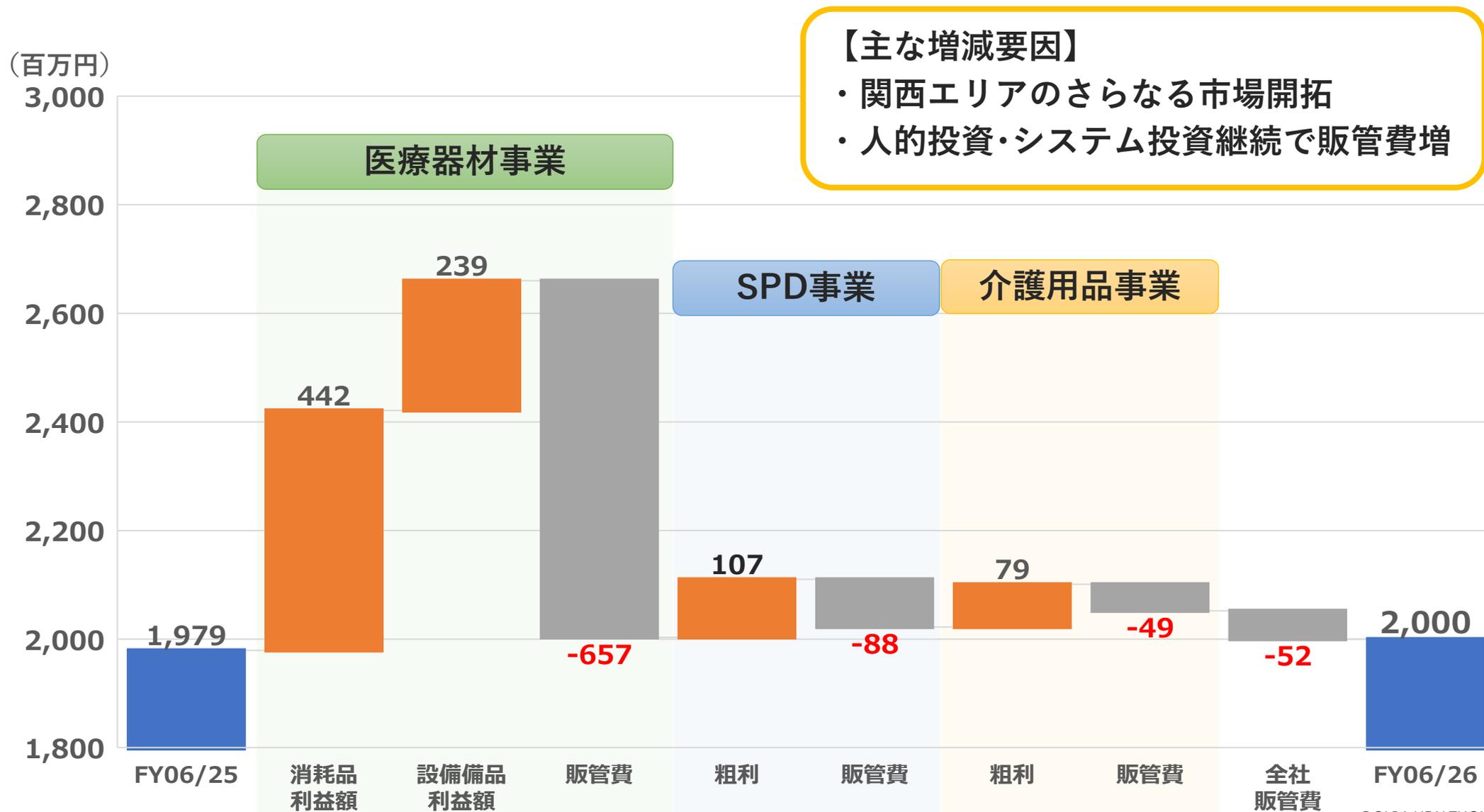
2026年6月期 通期連結業績予想

売上高・売上総利益は過去最高を更新し、営業利益は微増益となる予想

(百万円)	予想	2025/6実績	増減
売上高	127,978	122,702	+4.3%
売上総利益	14,856	13,909	+6.8%
売上総利益率	11.61%	11.34%	+0.27
販売管理費	12,856	11,929	+7.8%
営業利益	2,000	1,979	+1.0%
経常利益	1,928	1,962	△1.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,321	1,430	△7.6%

1株当たり当期純利益 223.04円

2026年6月期 営業利益 増減要因

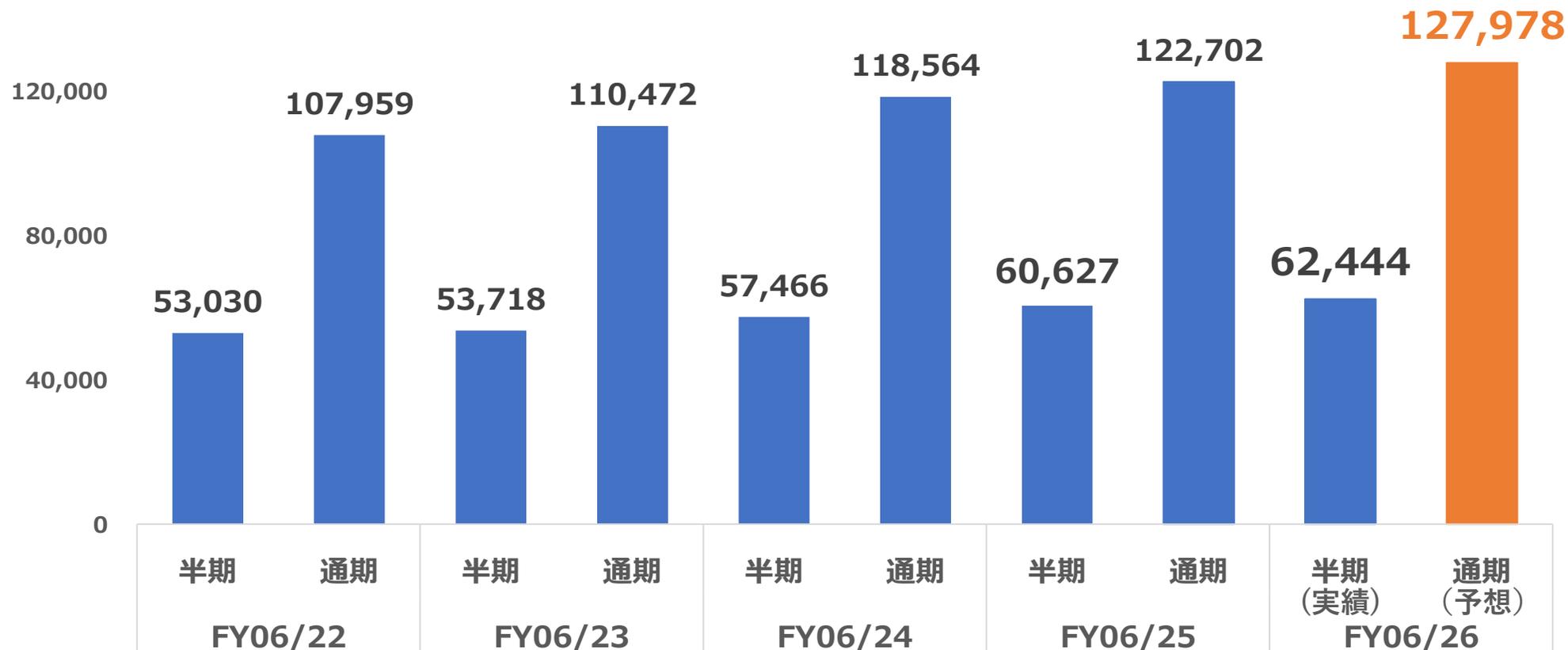


【連結売上高】 過去最高の予想

2026年6月期 **1,279億円**の予想
(前期比4.3%増)

6期連続増収・過去最高へ

(百万円) 160,000

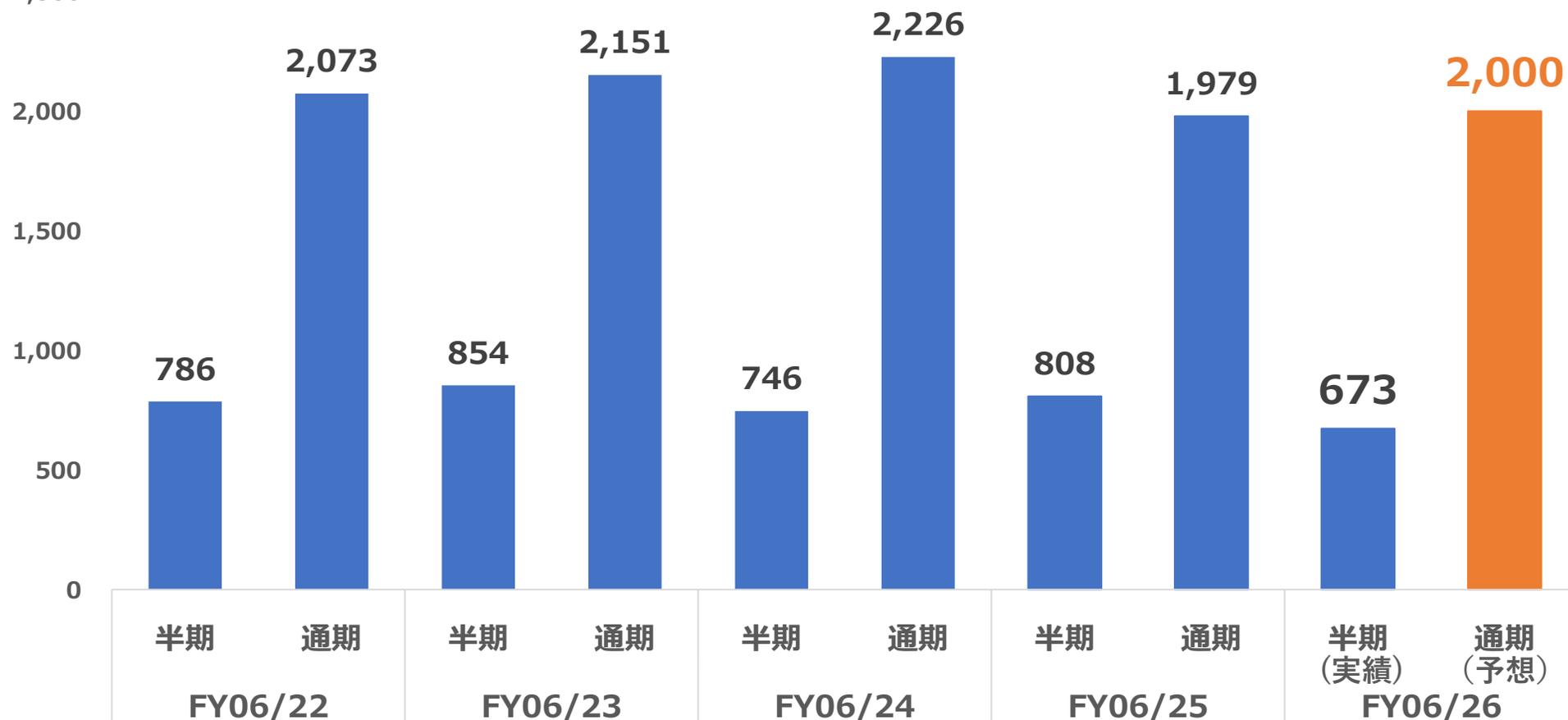


【連結営業利益】 微増益の予想

2026年6月期 **20億円**の予想
(前期比1.0%増)

当期は20億円水準への回復を目指す

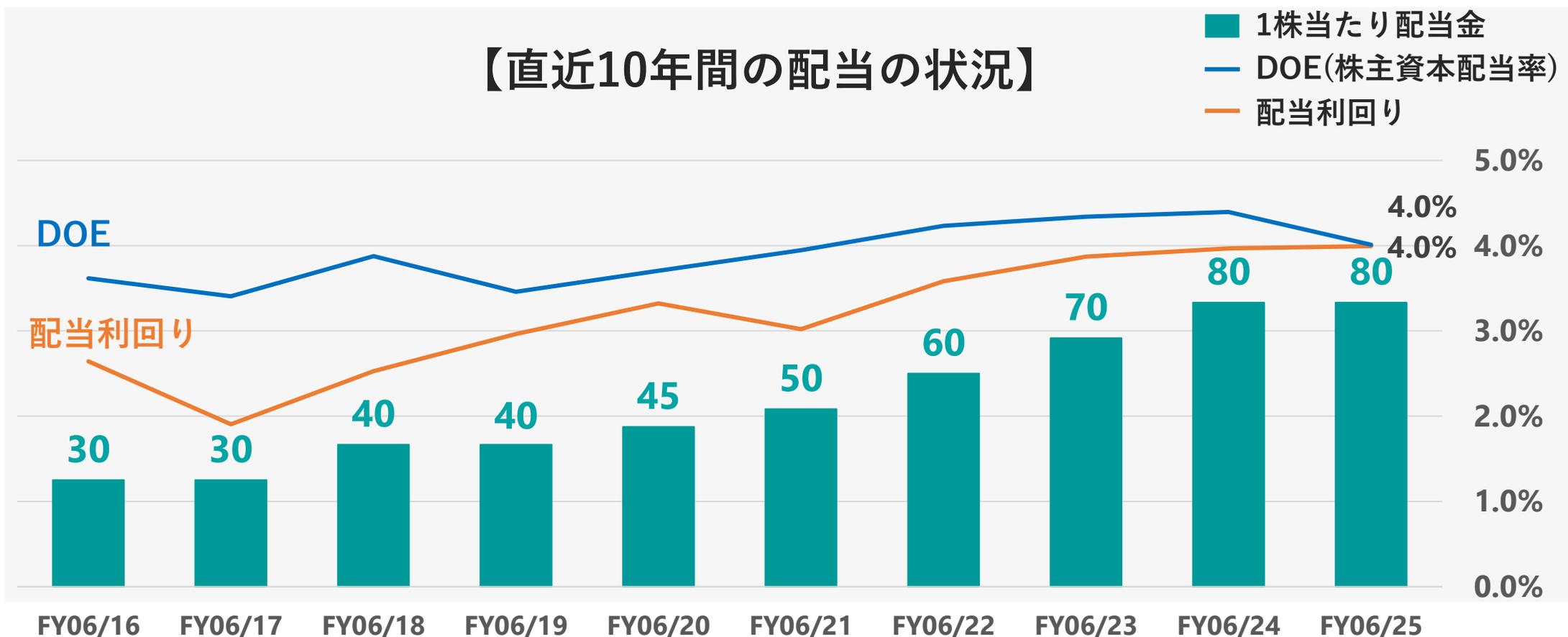
(百万円) 2,500



配当の基本方針

- ① **増配又は維持**を目指します
- ② 成長投資に備え内部留保に努めます

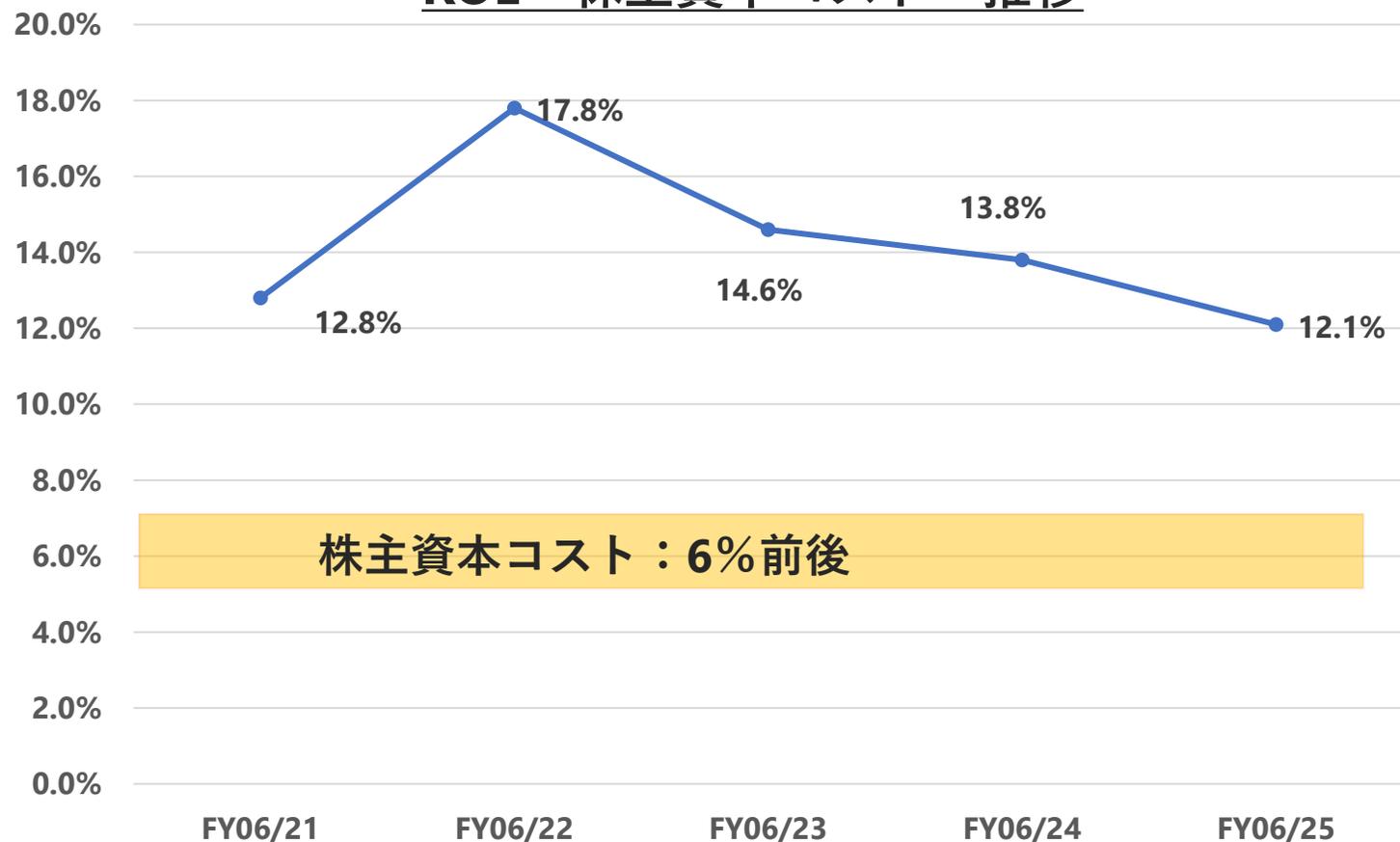
FY06/26は80円の予想



※配当利回りは、各期の期末日時点の株価をもとに算定しています

資本コスト・資本収益性 現状分析

ROE・株主資本コスト 推移



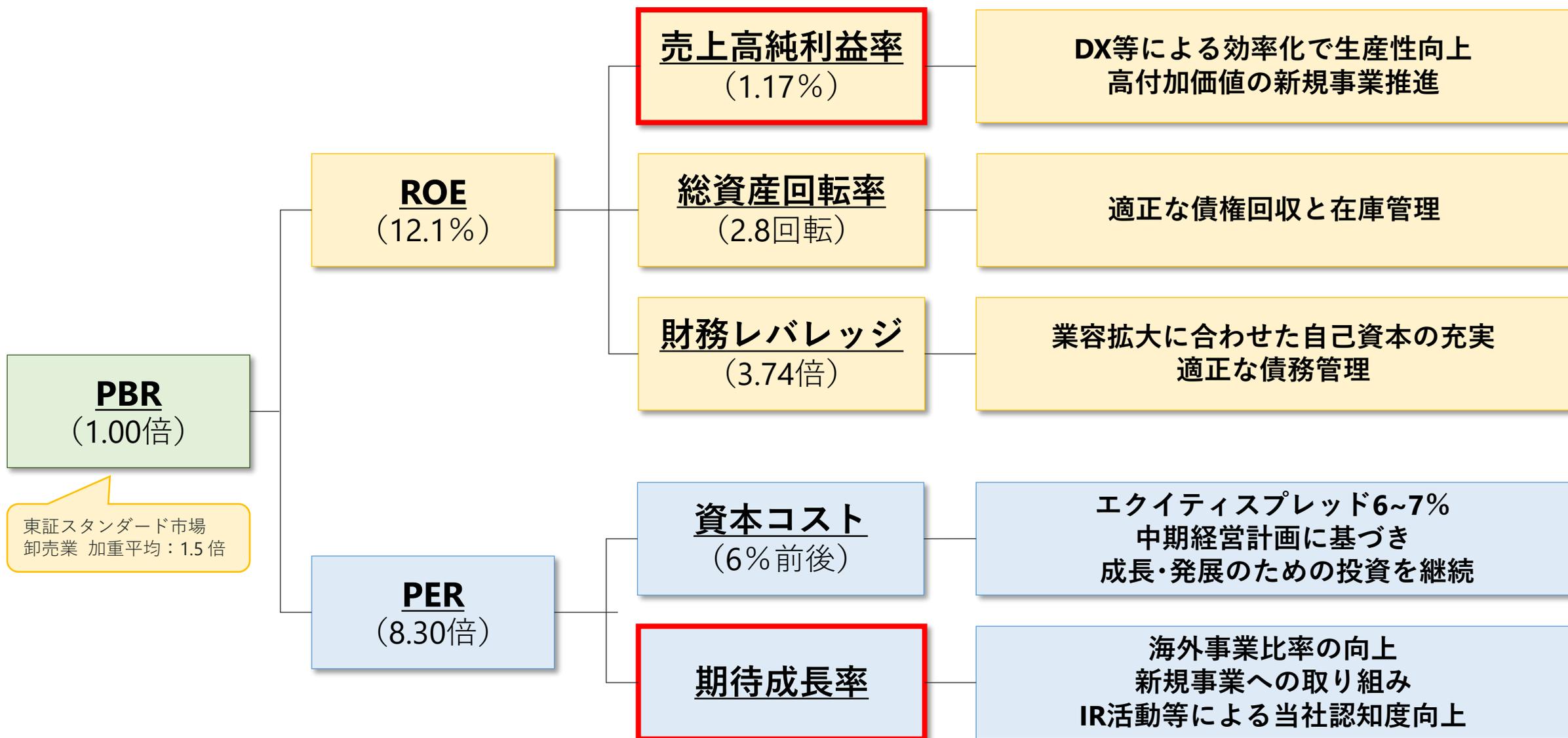
—●— ROE

- ・ **エクイティスプレッド (%)**
(ROE-株主資本コスト)
⇒ **約6%~7%前後**
- ・ **継続的に資本コストを上回る資本収益性を達成**
- ・ **ROEの過去5年単純平均**
⇒ **14.2%**
- ・ **中期経営計画に基づき**
成長・発展のための投資を継続

※株主資本コスト算出参考値

・ リスクフリーレート：10年国債利回り ・ β 値：0.8程度 ・ マーケットリスクプレミアム：7%程度

PBR向上の取り組み



※()内 当社数値は、PBRは2025/12/30時点、その他は前期実績。東証指数は2025/12時点。

中期経営計画 概要



OLBA
HEALTHCARE

VISION2030 持続的成長と株主還元の取り組み

VISION 2030

国内最高の医療機器商社

営業利益の20%は海外から

30以上の新製品・サービス

【主力市場】
医療・介護業界

創業104年
国の医療制度下で
安定的需要

【成長戦略】
新規事業拡大

医療介護事業の
収益をもとに
海外含め新規事業創出

【株主還元】
増配又は維持

2000年の上場以来
減配なし

中期経営計画

(2028/6期：売上高1420億円、営業利益27億円)

2026/6期～2028/6期 中期経営計画のポイント

社員憲章の共有

生産性向上

ロジスティクス
・イノベーション

物流倉庫建設

仕入先との物流連携

域内物流のハブ機能

現業強化・効率化

営業活動の高度化 新地域・新顧客開拓

医療器材事業の仕入交渉力強化

専門領域のグループ内連携

バックオフィス業務の合理化・効率化



サステナビリティ

人材育成・人材への投資

働き方改革／健康経営

エンゲージメント向上

ダイバーシティ促進

環境負荷の低減

コンプライアンス徹底

未来への投資

新規事業育成

ASEAN事業育成

バークメド事業拡大

オルシード事業育成

外部連携促進

業務提携推進

スタートアップ連携

医工連携

OLBA-DX

CRM/SFA/BI構築

電子カタログ充実

Li-Flo活用・展開

商品マスタ改良

グループウェア更新

ノーコードツール展開

各種AIの活用

ITスキルアップ

ITパスポート取得

e-learning受講

DX人材育成講座

2028/6期目標

売上高 **1420** 億円

営業利益 **27** 億円

VISION
2030

国内最高の医療機器商社

営業利益の20%は海外から

30以上の新製品・サービス

中期経営計画：取り組みの主なポイント

- **OLBA-DX**：業務効率化とICTツール活用による営業の質の向上
社員のITスキル向上にも取り組む
- **生産性向上**：現業強化とロジスティクスの革新（新物流センター建設）
安定供給を実現し、顧客提供価値の最大化を目指す
- **未来への投資**：新規事業育成、サステナビリティ確保を実現
人的資本投資や地球環境に配慮した取り組みを推進

2026/6期～2028/6期 中期経営計画のポイント



以降のスライドで
『OLBA-DX』
『ロジスティクス・イノベーション』
『新規事業育成』
『サステナビリティ』
に絞り説明

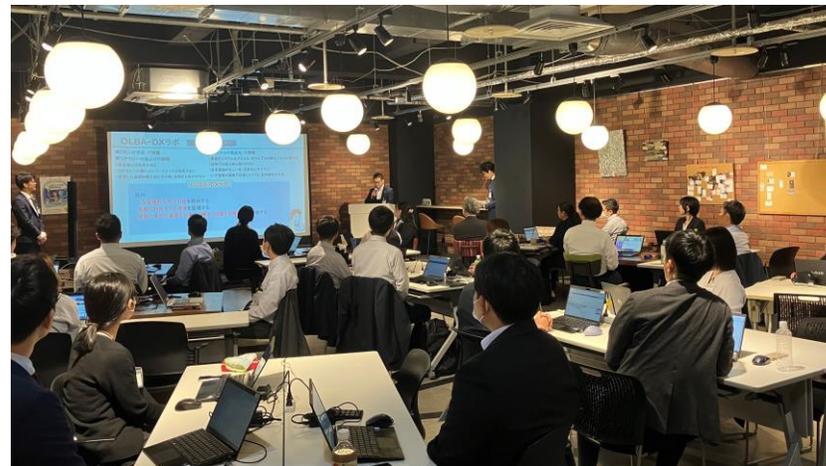
DX施策の状況

- **さらなる営業支援・業務効率化を推進**
 - ・ 生成AI利用拡大
 - ・ ノーコードツール活用拡大
 - ・ CRM、SFA構築：実証実験段階
 - ・ グループウェアの刷新：2026年秋稼働予定
 - ・ 販売管理システムの刷新：2027年稼働予定

DX人材育成への取り組み

- ・ e-LearningによるDXリテラシー教育の実施や理解度評価のアセスメントを実施
- ・ また、ITパスポート試験の受験を奨励

【社内ノーコードツール活用勉強会の様子】



ロジスティクス・イノベーション

● 物流統合システム「Li-Flo」の稼働

2022年9月より事業会社のカワニシの拠点から順次稼働⇒**グループ全体へ導入完了予定**



在庫管理強化

品質管理強化

貸出業務効率化

導入拠点での効果

- ・バーコード読取やシステム連携等により、商品ピック・納品書出力の効率化、棚卸時間削減の効果

● 新岡山物流センター建設

2027年7月稼働予定で医療器材事業の新物流センター建設を決定

建設の趣旨

- ・業務効率化、BCP対策、新たな物流ネットワーク構築
- ・中四国地域における医療機器供給のハブ拠点

⇒「医療を止めない」の理念のもと、地域医療を支える拠点として医療機器の安定供給を担う



※詳細は「連結子会社におけるリースによる固定資産の賃借に関するお知らせ」をご覧ください

倉敷地区における医療機器共同配送の実証実験

ロジスティクス
・イノベーション

背景・目的

- ・ 物流2024年問題やドライバー不足への対応
- ・ 医療機器物流における低積載率・非効率の解消
- ・ ロジスティクス中期計画に基づく持続可能な物流モデル構築

実証実験の概要

- ・ 対象施設：倉敷中央病院
- ・ 連携：西日本メディカルリンク(株)
- ・ 期間：2025年11月～2026年1月
- ・ 内容：共同配送による一括納品、ルート最適化、積載率向上

期待される効果・中長期価値

- ・ 配送効率向上によるコスト・人手依存の抑制
- ・ CO₂排出量削減（ESG・非財務価値）
- ・ 将来的な他地域・他施設への展開可能性

岡山東部の医療機器販売商社



西日本メディカルリンク(株) HP (<https://www.jml-west.jp/>)

【公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院】



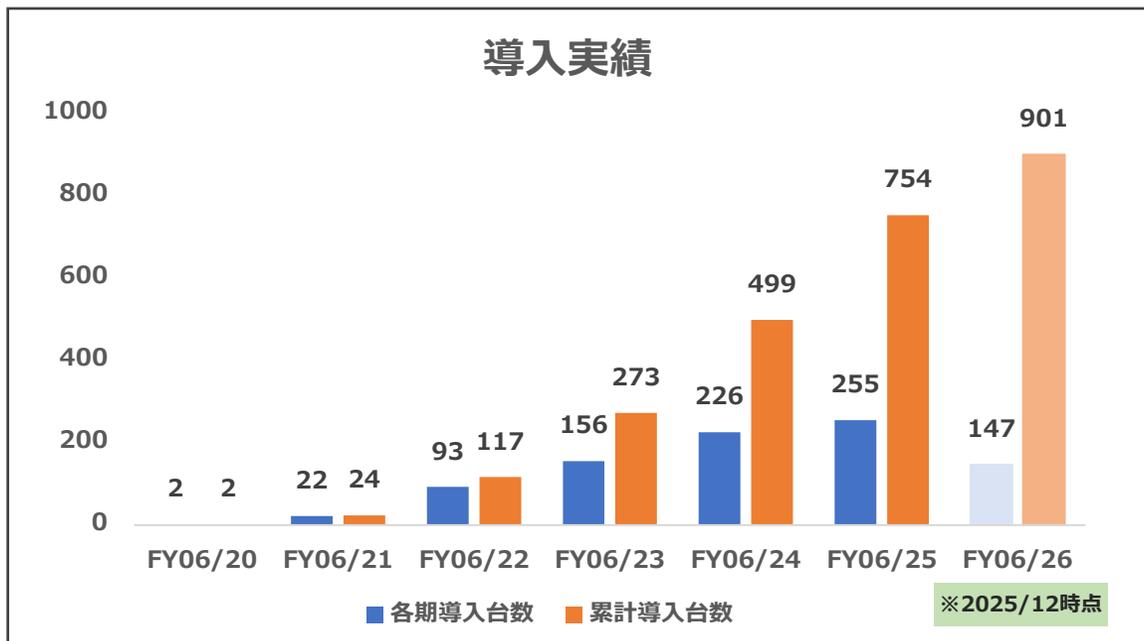
倉敷中央病院 HP (<https://www.kchnet.or.jp/>)

クリニック向け自動精算機「テマサック®」シリーズ

● 2025年7月-12月期導入実績 … **147**台
(対前年同時期△18台)

● 累計導入台数 … **901**台
(2025年12月末時点)

IT導入補助金 補助対象
レセコン連携、
キャッシュレス決済対応



7拠点より全国へ販売
山形県を除く46都道府県で販売実績あり 31

低熱分解型アップサイクルユニット「OLSTECH[®]」

オルステック

大阪大学 環境安全研究
管理センターとの共同開発



OLSTECH | 3つの特徴

- 1) CO₂やダイオキシンの排出を大幅に抑制
- 2) 有機ゴミを300分の1の容積にサイズダウン, 二次利用
- 3) 省スペース&低ランニングコスト (化石燃料不使用)

- ・医療・介護現場で大量に廃棄されるナイロン手袋やおむつの処理課題から開発
- ・ゴミの輸送・焼却を行わず、環境負荷低減に貢献
- ・アパレル、食品関係等、多方面から問合せあり

医療器材事業以外の収益機会
販売・納品の加速により収益拡大を目指す

ベビーツ
新生児Live 配信 & メモリアルムービー作成サービス「Babyeets®」



小さな命と
家族のために

特許取得
特許番号
7490123

Babyeets
ベビーツ

LIVE LIVE 配信 &
メモリアルムービー
作成サービス

子どもや家族を大切にできる社会を作る

いすまる まる いち うんどう

「1001運動」

10 子供虐待の防止 「1→0に」

01 出生率増加 「0→1に」

児童虐待対応件数の推移

年度	児童虐待対応件数(万件)
2011年度	15
15	15
20	15
20万超え	20

増え続ける
虐待件数を
減らす

全国の出生数の推移

年度	出生数(万人)
2014年	95
16	90
18	85
20	80
23	75

減り続ける
出生数を
増やす

Babyeets® | 3つの特徴

- 01 専用カードを読み取るだけの簡単操作
- 02 遠隔地からのリアルタイム映像の視聴
- 03 退院後のメモリアル動画提供

【開発への思い】

- ・ 出産直後の感動や新生児の記録を家族、親族へ届ける
- ・ 新生児に対する愛着形成の促進に寄与することを目指す



左：メモリアルムービーサンプル
右：あいテレビ 取材動画

2024年12月に愛媛大学医学部附属病院で運用開始
特許も取得しており、5施設で運用中(2025年12月末時点)

事業進捗



▶ 全自動錠剤分包機の販売拡大

大学病院に続き 王立病院への導入も決定

【タイ王国の正規販売代理店】

TAKAZONO

株)タカゾノ :
<https://www.takazono.co.jp/>



全自動錠剤包装机



自動調剤台

▶ 整形インプラントの販売開始

2025年12月より、手術で利用開始

Dios Digital
Orthopaedic
Solutions Co., Ltd.

DiOS社 : [Vhttps://dios.co.th/](https://dios.co.th/)



▶ リハビリ機器のレンタル開始

株)モリトーの免荷式歩行リフト



ThaiMORITOH :
<https://www.thaimoritoh.co.th/>

免荷式歩行リフト
POPO



▶ タイオルバがThai-FDA承認取得

医療機器輸入メーカーのポジショニング

mediVR

株)mediVR :
<https://www.medivr.jp/>



mie chemical industry 三重化学工業株) :
<https://www.miekagaku.co.jp/>



Environment (環境)

- ・低熱分解型アップサイクルユニット「OLSTECH®」販売



↑低熱分解型アップサイクルユニット「OLSTECH®」



→処理後に排出された炭酸塩。建材や土壌改良材に利用可能

Social (社会)



【人的資本投資/健康経営】

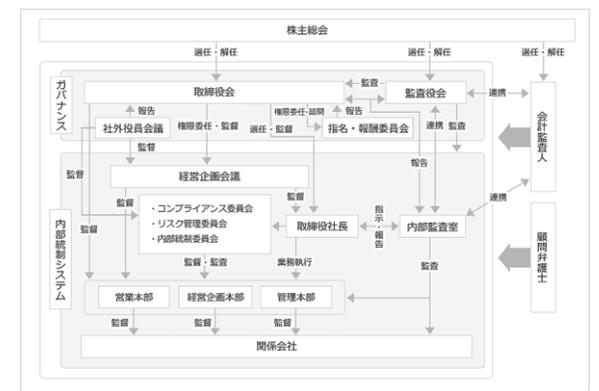
- ・男性の育児休業取得者増加
- ・女性活躍推進
- ・社員エンゲージメント向上
- ・健康経営戦略マップ策定
- ・長期収入サポート (GLTD)

【地域社会への貢献】

- ・安全かつ質の高い医療・介護機器、サービスの提供

Governance (ガバナンス)

- ・経営の透明性・効率性・健全性を確保。グループ価値向上の実現
- ・社員憲章に「いかなるときも、フェアな競争と取引を心掛ける」を掲げ、社員一人ひとりの倫理意識向上に努める



↑コーポレート・ガバナンス体制図

ダイバーシティの推進

➤ 女性の活躍

- ・ 2030年女性管理職比率目標19.0%を公表
- ・ 女性社員のキャリア形成支援のため、社外メンター制度を開始

➤ 男性の育児休業取得の促進

- ・ 産休育休ガイドブックやe-Learning等で啓発し、取得しやすい環境を整備

エンゲージメントサーベイ

➤ 「働きやすさ」と「働きがい」向上

- ・ 2024年3月からサーベイを開始
- 対前年改善度をベンチマークに、課題分析や改善実施



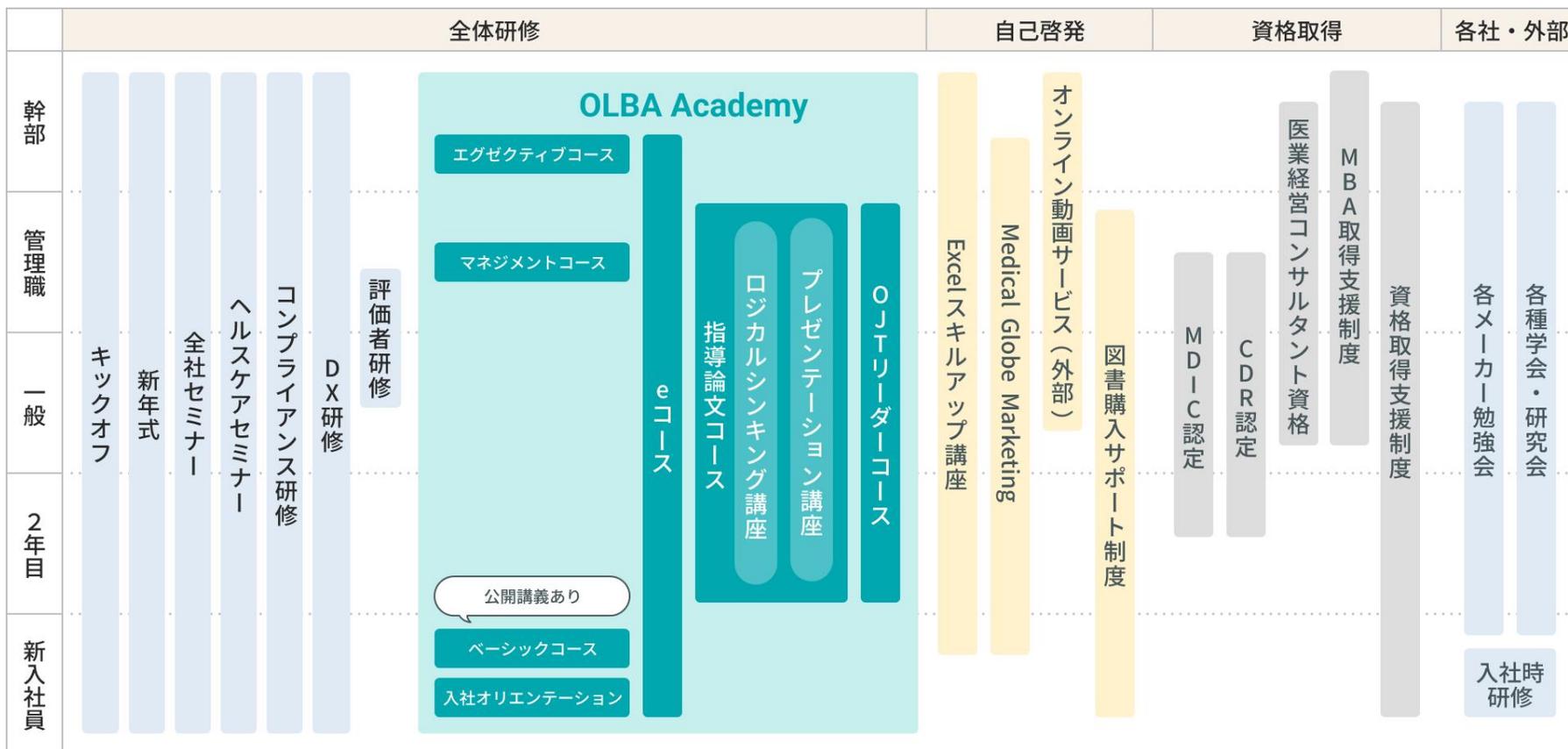
成長の源泉 人材育成

■ 体系的な人材育成・専門性の習得

30年の歴史を持つ社内教育制度「**OLBA Academy**」

社員のステージに合わせて学びの機会を設定。社員エンゲージメント向上

専門性・マネジメント力の構築
e-Learning講座も順次拡充



【新入社員向け研修の様子】



当社の「強みと活用」 「弱みと対策」

強み・活用

- 中四国圏でシェアNo.1（顧客・仕入れ先からの信用が基盤）
⇒ 安定的な利益確保による新規投資実施が可能
- 成長の源泉となる人材育成・DX投資
⇒ 約1年間の新入社員教育等により、顧客のニーズを的確に把握
⇒ ICTツール活用による営業活動の後押し

- ・電子カタログ
- ・物流統合システム
- ・経費精算システム
- ・名刺管理システム
- ・RPA活用 他

弱み・対策

- 低利益率（卸売業の業界特性）
⇒ タイ王国を始めとした海外展開、自社開発商品等の高付加価値事業
- 大都市圏での低シェア（高い参入障壁による進出困難）
⇒ 新規事業による全国向け販売。自動精算機事業では約4割が関東圏での販売。

⇒ 根底に「創業100年を超えても、新たなチャレンジをし続ける企業文化」

● 新規顧客獲得、収益向上

- ・ 四国へのセンター出店や既存センターの拡張
- ・ 中四国エリアでの顧客開拓
- ・ 購買価格削減や保険請求漏れ確認等の病院経営サポート提案

● 在庫管理システム「^{メディアリア}Medilia[®]」の広域販売

- ・ 中小病院での自主運用タイプ
- ・ 簡単・正確な在庫管理
- ・ 安価な課金制とリモートメンテナンス

顧客満足度と
生産性向上を図る



SPD在庫管理システム「Medilia(メディアリア)」医療材料の在庫管理... 共有

病院在庫管理
SPDシステム

Medilia
メディアリア

YouTube
動画はこちら

YouTube動画 <https://www.youtube.com/watch?v=iYxAzGT6Utl>

● 既存エリアのシェアアップ

- ・ フォロー体制充実で顧客サービス強化
- ・ ICTを活用した営業活動の推進

● サービスの強化・物品販売

- ・ 介護施設向け取引強化
- ・ 補聴器販売、車いす修理サービス



● 介護用住宅リフォームの自社施工

- ・ 新規利用者の開拓
- ・ 安心・安全のサービス提供



介護用ベッド



車いす



補聴器

瀬戸内圏へ追加出店計画中



參考資料



OLBA
HEALTHCARE

会社概要

商号 オルバヘルスケアホールディングス株式会社
(旧商号 株式会社カワニシホールディングス)

本社 岡山市北区下石井一丁目1番3号

創業 1921年 5月

設立 1967年10月

代表者 代表取締役社長 前島 洋平

資本金 607,750千円

従業員 1,388名 (連結・2025年12月末)

決算期 6月末

2020年3月 東証一部銘柄に指定
2022年4月 スタンダード市場へ移行

OLBA HD



カワニシバークメド

カワニシ

サンセイ医機

日光医科器械

オルシード

タイオルバヘルスケア

ホスネット・ジャパン

ライフケア

整形・循環器・手術関連・眼科～介護まで多様な事業ポートフォリオ

沿革

- 1921年5月 岡山市大雲寺町（現在の岡山市北区中央町）に、川西器械店を創業。
- 1927年9月 合資会社川西器械店に改組・設立。
- 1950年6月 有限会社川西器械店に改組・設立。
- 1967年10月 川西医科器機株式会社に改組・設立。
- 1985年10月 株式会社ライフケアを設立。
- 1996年7月 株式会社ホスネット・ジャパンを設立。
- 1999年1月 香川精器株式会社、株式会社四国メディカルアビリティーズと三社合併。
同時に商号を株式会社カワニシに変更。
- 2000年12月 東京証券取引所市場第二部へ上場。
- 2004年1月 営業部門を株式会社カワニシとして新設分社により設立。
同時に商号を株式会社カワニシホールディングスに変更。
- 2005年6月 日光医科器械株式会社の株式を100%取得。
- 2012年1月 サンセイ医機株式会社の株式を100%取得。
- 2014年8月 グループの業容拡大に伴い、岡山市北区下石井一丁目1番3号に本社移転。
- 2016年1月 株式会社エクソーラメディカルを設立。
- 2019年7月 株式会社カワニシパークメドを設立。
- 2020年3月 東京証券取引所市場第二部から同市場第一部銘柄に指定。
- 2021年1月 創業100周年を記念して、商号をオルバヘルスケアホールディングス株式会社に変更。
- 2022年4月 東京証券取引所の市場区分見直しに伴い、スタンダード市場へ移行。
- 2022年6月 株式会社カワニシパークメドの株式を100%取得
- 2023年1月 タイ王国にタイオルバヘルスケア株式会社（THAI OLBA Healthcare Co., Ltd.）を設立。
- 2025年1月 株式会社オルシードを設立。

OLBAグループ 社員憲章

事業のあり方

- ビジネスを通じて、医学・医療・介護の発展に貢献し、国民の健康長寿に寄与する
- 革新的な新機能・新技術の恩恵を、患者と医療機関に速やかに適切に提供する
- ステークホルダー（顧客、取引先、社員、地域社会、株主）の皆様に、誠実かつ継続的に価値を提供し、持続可能な経営を追求する
- 業界の内外を問わず積極的に交わり、創造性を育み、グローバルな視点でフロンティアを探求する

組織のあり方

- 人材育成を尊び、「マネジメント（人を通じて事を成す）」に重きをおく
- ダイバーシティを重視し、多様な意見や価値観、働き方を認め合う
- いかなるときも、フェアな競争と取引を心掛ける
- 競争によってもたらされた成果は、新たな価値を創造するために再投資する
- メンバーが心身ともに健康で、貢献意欲を持つことのできる環境を整備する

メンバーのあり方

- 自発的かつ主体的な成長意志を持つ
- 過去の成果に安住せず、謙虚に学び続ける
- 自身の貢献や努力なしに便益を得ようとするフリーライディングを善しとしない
- 社内外のビジネス上のパートナーを尊重し、高い倫理観と誇りをもって業務に臨む

連結貸借対照表 (2026年6月期第2四半期)

百万円

資産	金額	増減	負債・純資産	金額	増減
現金・預金	2,906	△563	仕入債務	28,180	1,137
売上債権	27,679	1,309	短期借入金	2,350	1,950
商品	7,395	978	その他	1,770	△608
その他	626	△42	流動負債計	32,300	2,479
流動資産計	38,606	1,682	長期借入金	1,316	△200
有形固定資産	6,088	583	その他	2,341	64
無形固定資産	682	56	固定負債計	3,657	△136
投資その他資産	2,735	△82	負債合計	35,958	2,342
固定資産計	9,505	557	純資産合計	12,153	△101
資産合計	48,111	2,240	負債純資産合計	48,111	2,240

※増減は前期末比

1株当たり純資産 2,050.24円

連結キャッシュフロー計算書(2026年6月期第2四半期)

	百万円	2025年6月期 第2四半期	2026年6月期 第2四半期
税引前利益		815	694
減価償却費		289	350
減損損失		11	-
売上債権の増減額(△は増加)		△1,711	△1,309
棚卸資産の増減額(△は増加)		△1,147	△978
仕入債務の増減額(△は減少)		2,216	1,137
その他		△1,272	△665
営業キャッシュフロー		△799	△771
有形固定資産取得による支出		△797	△1,046
無形固定資産取得による支出		△83	△129
関係会社貸付けによる支出		-	-
その他		△8	199
投資キャッシュフロー		△888	△976

連結キャッシュフロー計算書(2026年6月期第2四半期)

		百万円	2025年6月期 第2四半期	2026年6月期 第2四半期
	短期借入金の純増減額 (△は減少)		2,100	1,950
	長期借入金の返済による支出		-	△200
	リース債務の返済による支出		△76	△75
	自己株式の取得による支出		△135	-
	自己株式の処分による収入		139	1
	配当金の支払額		△488	△493
	財務キャッシュフロー		1,539	1,182
	現金・現金同等物の増減額(△は減少)		△148	△563
	現金・現金同等物の期首残高		2,681	3,420
	その他		60	-
	現金・現金同等物の中間期末残高		2,593	2,856

連結経営指標等の推移①

項目	単位	2021/6	2022/6	2023/6	2024/6	2025/6
売上高	百万円	102,072	107,959	110,472	118,564	122,702
営業利益	百万円	1,540	2,073	2,151	2,226	1,979
経常利益	百万円	1,542	2,119	2,158	2,244	1,962
親会社株主に帰属する 当期純利益	百万円	989	1,535	1,414	1,500	1,430
純資産	百万円	8,131	9,093	10,327	11,373	12,255
総資産	百万円	36,562	39,968	40,878	43,237	45,871
BPS	円	1,336.91	1,513.91	1,712.19	1,922.58	2,068.59
EPS	円	162.66	252.80	234.90	251.68	241.43
自己資本比率	%	22.2	22.8	25.3	26.3	26.7
ROE	%	12.8	17.8	14.6	13.8	12.1
ROA	%	4.4	5.5	5.3	5.3	4.4
PER	倍	10.17	6.63	7.70	8.01	8.30
PBR	倍	1.24	1.11	1.06	1.05	0.97

連結経営指標等の推移②

項目	単位	2021/6	2022/6	2023/6	2024/6	2025/6
営業CF	百万円	3,126	2,420	△659	2,084	1,626
投資CF	百万円	△630	△211	△306	△673	△1,635
財務CF	百万円	△2,262	△1,169	175	△1,089	686
現金及び現金同等物	百万円	2,110	3,149	2,359	2,681	3,420
銀行借入金	百万円	795	275	955	600	1,916
従業員数	人	1,261	1,289	1,317	1,354	1,393
うち医療器材	人	913	938	955	982	1,011
うちSPD	人	177	175	177	174	179
うち介護	人	131	135	138	147	153
うち本社	人	40	41	47	51	50

(前期) 2025年6月期 連結業績

売上高は過去最高になるも、利益は減少

	百万円	予算比	前期比
売上高	122,702	△0.8%	+3.5%
売上総利益	13,909	△3.7%	+2.3%
売上総利益率	11.34%	△0.34	△0.14
販売管理費	11,929	△2.0%	+4.9%
営業利益	1,979	△12.8%	△11.1%
経常利益	1,962	△12.9%	△12.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,430	△14.9%	△4.7%

1株当たり当期純利益 241.43円

(前期) 2025年6月期 業績まとめ

※過去最高を更新

売上高

1,227億円
(前期比+3.5%)

ROE

12.1%
(5年平均14.2%)

配当利回り

4.0%
(※2025/6/30時点)

営業利益

19.7億円
(前期比△11.1%)

PBR

0.97倍
(※2025/6/30時点)

DOE

株主資本配当率

4.0%
(※2025/6/30時点)

CSRの取り組み 地域に根差した社会貢献

地域のみなさまとともに歩み、地域の発展・活性化につながる未来を

ファジアーノ岡山 クラブスポンサー

2006年設立 岡山県初のプロサッカークラブ
2024年 J1昇格決定



MedTech Angels ヘルステックベンチャー支援

医療機器スタートアップ ベンチャーコンテスト



岡山リベッツ チームスポンサー

2018年設立の男子卓球チーム
全国リーグ「Tリーグ」に参戦



大原美術館 オフィシャルパートナー

岡山県倉敷市に昭和5年設立
日本初の西洋美術中心の私立美術館



日本医工ものづくりコモンズ MINCの会 「海外医療機器の最新動向勉強会」

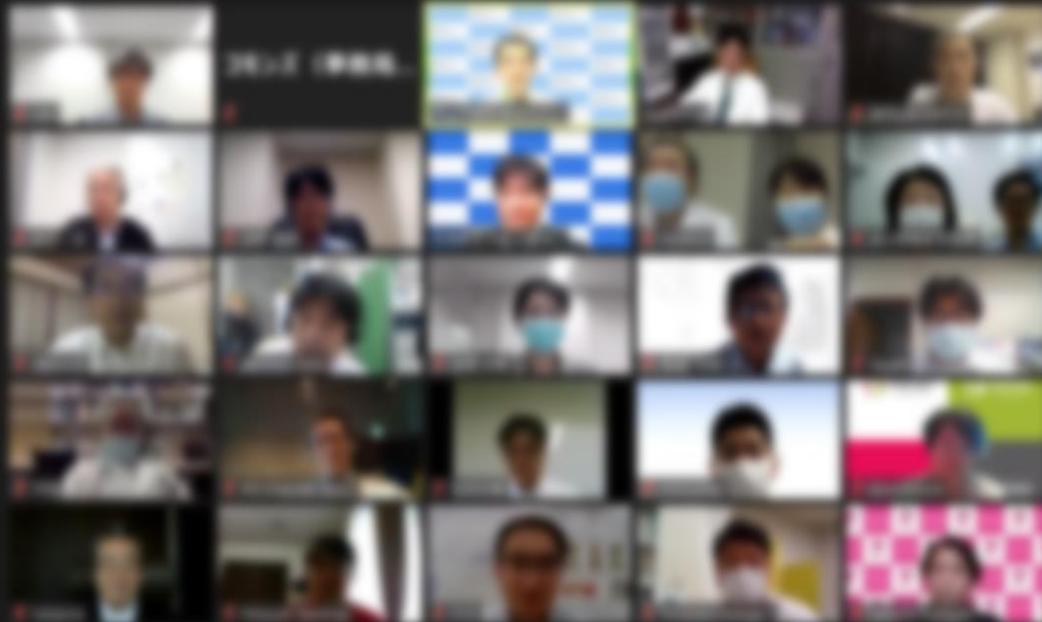
Medical Globeに掲載の

海外の最新医療機器情報について多業種間で情報共有と議論を行う

医師・メーカー・経済産業省・厚生労働省・特許庁・AMED・PMDA・

当社MG編集部が参加、意見交換 〈2017年10月開始〉

第37回：2026年3月実施予定
国立健康危機管理研究機構・オンライン・ハイブリッド開催



会社情報・問い合わせ先

【事業年度】 毎7月1日から翌年6月30日まで

【定時株主総会】 毎年9月開催

【上場証券取引所】 東京証券取引所（スタンダード市場）

証券コード 2689

【単元株式数】 100株

【お問い合わせ先】 オルバヘルスケアホールディングス株式会社

常務取締役管理本部長 村田 宣治

info@olba.co.jp

TEL：086-236-1115

FAX：086-236-1116

- 本資料で提供されている情報に関しては万全を期しておりますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 資料に掲載された意見や予測は、資料作成時に入手可能な情報に基づく当社の見通しであり、当該意見、予測等を使用した結果についても何ら補償するものではありません。記載された内容が予告無しで変更される場合もあります。
- 本資料は、当社を理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。投資に関する最終的な意思決定は投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。